

新型コロナウイルスに関する農林水産省対策本部（第14回） 概要

日時：令和2年5月1日(金) 11時30分～12時00分

場所：農林水産省 講堂

出席者：江藤大臣、伊東副大臣、加藤副大臣、藤木政務官、河野政務官、農林水産審議官、官房長、総括審議官、国際部長、危機管理・政策立案総括審議官、統計部管理課長、報道官、審議官（兼消費・安全局兼食料産業局）、食料産業局長、生産局長、経営局長、農村振興局長、政策統括官、農林水産技術会議事務局長、林野庁次長、水産庁次長、北海道農政事務所長、東北農政局長、関東農政局次長、北陸農政局長、東海農政局長、近畿農政局長、中国四国農政局長、九州農政局長

内容：

1 本部長御発言（大臣）

昨日、令和2年度補正予算が成立した。農林水産関係予算では、農畜産業振興機構（ALIC）の事業を含め総額5,448億円が措置されたので、職員の皆さんには、現場にしっかりその内容を周知し、生産基盤の維持・強化に資するよう更なる努力をお願いする。一次産業、食品産業をしっかりと支え、国民生活の基盤をしっかりと守ってほしいよう、省一丸となって頑張ろう。

明日から連休に入るが、各職員は「人との接触を8割減らす、10のポイント」も参考に、感染拡大の防止に努めていただきたい。

農林水産業、食品産業に従事する皆様におかれては、事業継続に御努力いただいていることに対し、厚くお礼申し上げます。また、国民の生活維持に御尽力されているすべての方々に感謝を申し上げたい。まずは自身の健康に最大限留意された上で、引き続き事業継続をお願いしたい。

先ほど記者会見でも申し上げたが、肉、野菜、果物、魚等、様々な産品で厳しい状況が続いている。5,448億円の予算の中で豊洲市場ドットコムのようなネット販売、その他別のところでも送料等の負担ができる。隗より始めよという諺のとおり、私も豊洲市場ドットコムで申し込みをした。職員の皆さんも利用して消費拡大に協力されたい。

— プレス退出 —

2 新型コロナウイルスに関する支援策の周知について 危機管理・政策立案総括審議官から説明

3 地方創生臨時交付金について 農村振興局長から説明

4 補正予算の早期執行に向けた周知状況について 北海道農政事務所長、東北農政局長、関東農政局次長、北陸農政局長、東海農政局長、近畿農政局長、中国四国農政局長、九州農政局長から報告

5 その他

<江藤大臣>

補正予算をしっかりと活用していただけるよう努力することは当然だが、持続化給付金は要件等が複雑で、しっかり説明しないと理解していただけない部分がある。本来この

制度を使えたのに、我々の説明不足で使っていただけなかったということがないように丁寧な説明に意を尽くすこと。窓口で相談を受けることもいいが、更にこちらから積極的に情報提供をしていくことも考えてほしい。制度を導入するときには、その制度の対象となる方々に、その趣旨と内容をご理解いただくような努力をする必要がある。現場に近い農政局には頑張ってもらいたい。

学校がいつ再開されるかは設置者の判断だが、当分の間、開かれないかもしれない。今後、地元産品を積極的に給食に活用するところも出てくると思うが、突然、学校給食が再開されることとなった場合に備えメニューを研究するなど、活用方法のシミュレーションを始めるようお願いしておいてほしい。

連休中は家族で一緒に過ごす時間が長くなる。従って、一人罹患すれば家族全員が感染するというリスクが高まる。健康管理も仕事のうちだという意識を持ってこの連休中を過ごしてほしい。

<伊東副大臣>

補正予算が成立し、いよいよこれから国民の期待に応えていくわけであるが、持続化給付金、雇用調整助成金、一律10万円の特別定額給付金、個人事業主・中小企業事業主の政府系金融機関からの貸出等々含めて多くの制度がある。各地で混乱が生じないように、農政局としても、当省管轄の制度だけではなく、政府全体の取組も頭に入れて、指導・助言していただきたい。緊急事態宣言は一ヶ月延長されたが、力を合わせて頑張ろう。

<加藤副大臣>

本省をはじめ地方局の皆さんも、連日連夜、大変な苦勞をされていることに心から感謝申し上げたい。引き続きお互いに連携をとりながらこの難局を乗り越えていこう。

<河野政務官>

私はマッチングに関して2点お願いしたい。人材のマッチングというのは非常に大切な観点であるので、既に各地で取り組んでいるところであるが、より一層の後押しをお願いする。また、食材のマッチングにおいては、フードバンクがスムーズに受け入れられるような体制をとっていただいていると承知しているが、給食の再開遅れにより廃棄が増加しているという報道がある一方で、野菜は連日高値が続いており、需給の観点からいうとマッチングが必要とされる状況ではないかと考えている。今後、食材のマッチングにも一層力を注いでほしい。

<藤木政務官>

現場の隅々にまでこの緊急経済対策の内容が伝わるよう努力願いたい。農家の方々に情報を伝達するには、JA職員を通じて周知することも効果的と考えられるので、そちらへの丁寧な情報提供も進めていただきたい。

以上